

沼津河川国道事務所の取り組み

平成30年10月11日

国土交通省 中部地方整備局
沼津河川国道事務所

1) シンポジウムの紹介

第23回水シンポジウム2018inふじのくに・沼津

- ◆「富士の麓で水を語らう～水のチカラ。多様な恵みや荒ぶる姿と暮らしの関わりを考える」をテーマとし、水が自然や人に与える様々な恩恵と問題について、市民、企業、学会、行政が幅広く討論や意見交換を行い、基調講演・分科会・市民団体発表、パネル展示を実施
- ◆シンポジウムの全体会議では、分科会の意見を集約し、「積極的に川と関わり、川の魅力を理解すると共に、正しく自然をおそれるすべを身につけよう」など、4つの「水に関する提言」を静岡・沼津から全国へ発信

日 時：平成30年8月23日（木）9:30～17:00
会 場：プラサヴェルデ（静岡県沼津市）
来 場 者：約400人

基調講演①：「水防災意識社会の更なる進化に向けて」
（国研）土木研究所 ICHARM 小池センター長
基調講演②：「伊豆半島ジオパークで考える、水のチカラ・人の知恵」
伊豆半島ジオパーク推進協議会 鈴木専任研究員
第1分科会：「富士山が育む豊かな水と人との結びつき」
第2分科会：「狩野川台風から60年、これからの水害への心得と備え」
市民団体発表：「わき水田宿川委員会」「三島北高校」
全体会議

主催：第23回水シンポジウム2018inふじのくに・沼津 実行委員会
構成団体：（公社）土木学会水工学委員会、静岡県、沼津市、
国土交通省中部地方整備局



会場の様子



清水実行委員長の挨拶



来賓挨拶（左より、静岡県知事、沼津市長、中部地方整備局長）



小池センター長の基調講演



狩野川台風60年シンポジウム

- ◆ 昭和33年(1958)に狩野川台風による甚大な被害が発生してから今年で60年
- ◆ あの悲劇を二度と繰り返さないためにも、世代間の「記憶をつなぎ」、流域内の「人々をつなぎ」、将来流域に住む人々の「未来の安全・安心をつなぐ」活動を促進し、『強く』『しなやかな』地域を創出するため、シンポジウムを開催

日 時：平成30年9月29日（土）13:30～15:30
 会 場：伊豆の国市アクシスかつらぎ大ホール
 来 場 者：約800人

第1部：「開催挨拶」「来賓挨拶」「狩野川台風と治水事業の取り組み」
 第2部：「パネルディスカッション」
 小学生による「狩野川台風の記憶をつないでいく」宣言

主催：「狩野川台風の記憶をつなぐ会」

小学生による 「狩野川台風の記憶をつないでいく」宣言

伊豆市立熊坂小学校の児童16名が、狩野川台風の悲劇を忘れず、記憶をつないでいくことを流域7市町の首長に宣言した。



児童による宣言の発表



宣言文の受け渡し

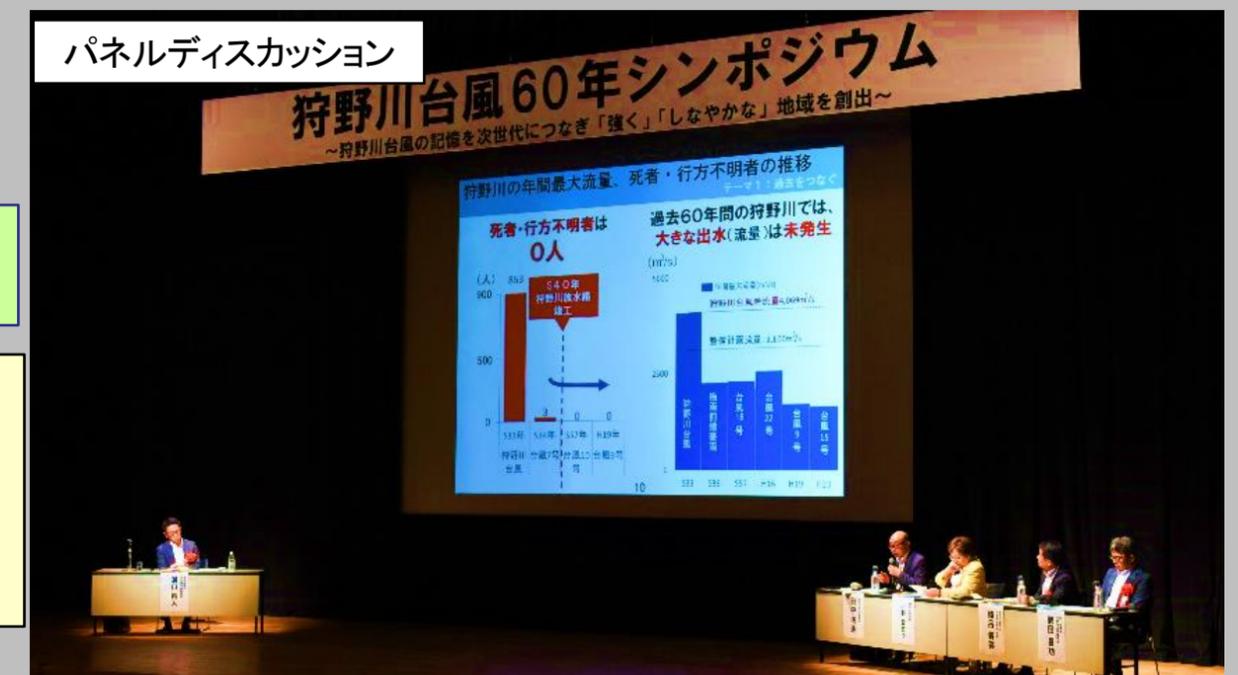
パネルディスカッション「世代を越え、つながる 狩野川台風の記憶～次の60年への備え～」

- テーマ1:過去をつなぐ
- テーマ2:未来へつなぐ

各パネラーが過去の水害や今後想定される水害リスクを紹介し、狩野川台風の記憶を次世代へつないでいくための方策について議論した。

【コーディネーターによる総括】

- ・ 防災・河川環境教育を通じて、狩野川台風の記憶を次世代にしっかりつないでいくことが重要である。
- ・ 「強く」「しなやかな」地域の創出に向け、流域が一体となって整備していくハード対策と、避難を促すソフト対策を両輪として実施することが重要である。



パネルディスカッション

狩野川台風60年シンポジウム

～狩野川台風の記憶を次世代につなぎ「強く」「しなやかな」地域を創出～



2) 平成30年度の出水対応状況

2) 平成30年度の出水対応状況

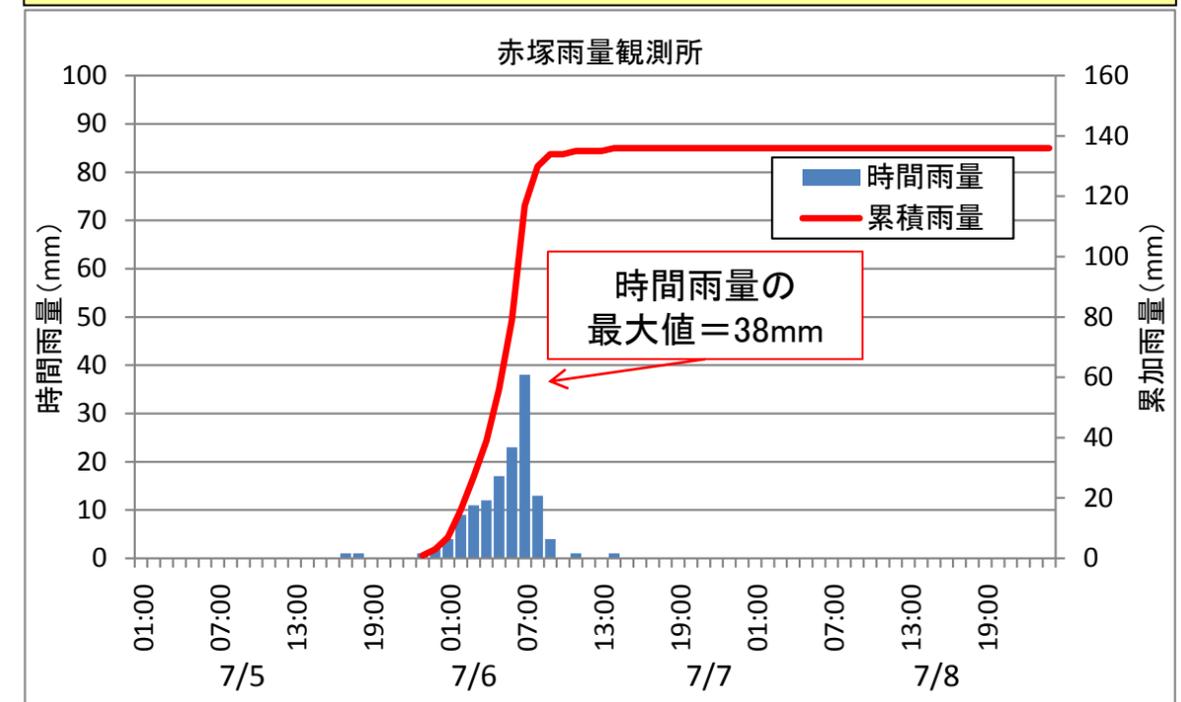
① 前線・低気圧(平成30年4月15日)の対応

- ◆ 前線を伴った低気圧の影響により、4月15日朝にかけて、大気は非常に不安定な状況
- ◆ 黄瀬川の本宿水位観測所の水位は、**急激な水位上昇***となり**氾濫危険水位**を超過
(※水防団待機水位+2.0mから氾濫危険水位+4.2mに到達するまで、約26分)

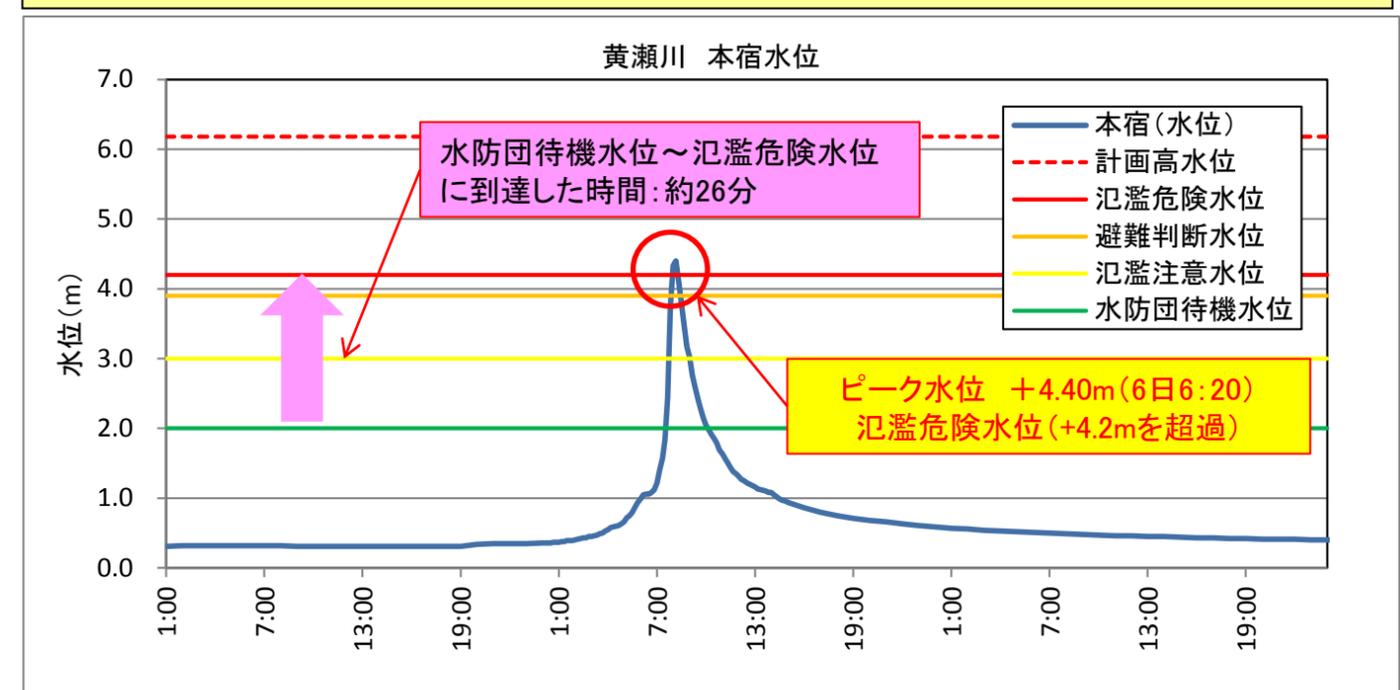
黄瀬川の出水状況



黄瀬川 赤塚雨量観測所(国交省) 時間雨量



本宿水位観測所の状況



2) 平成30年度の出水対応状況

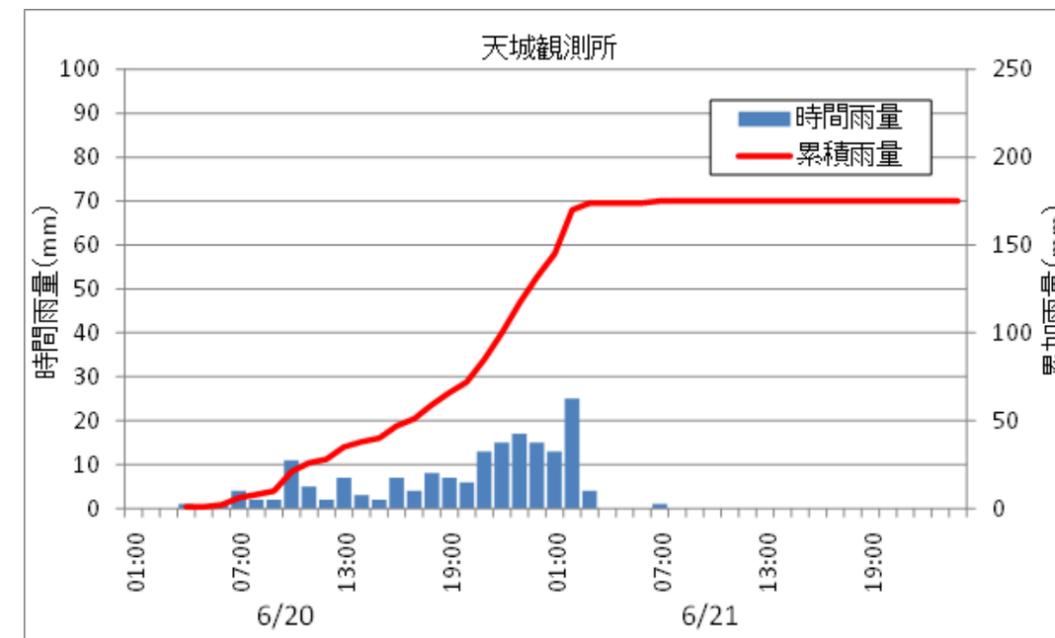
② 梅雨前線(平成30年6月21日)の対応

- ◆ 本州の南岸に停滞した梅雨前線・低気圧の影響により、広い範囲で断続的な降雨が発生
- ◆ 狩野川放水路固定堰を越流し、さらに水位上昇が見込まれたことから、6月20日23時40分に放水路を解放(6月21日7時30分に全閉)

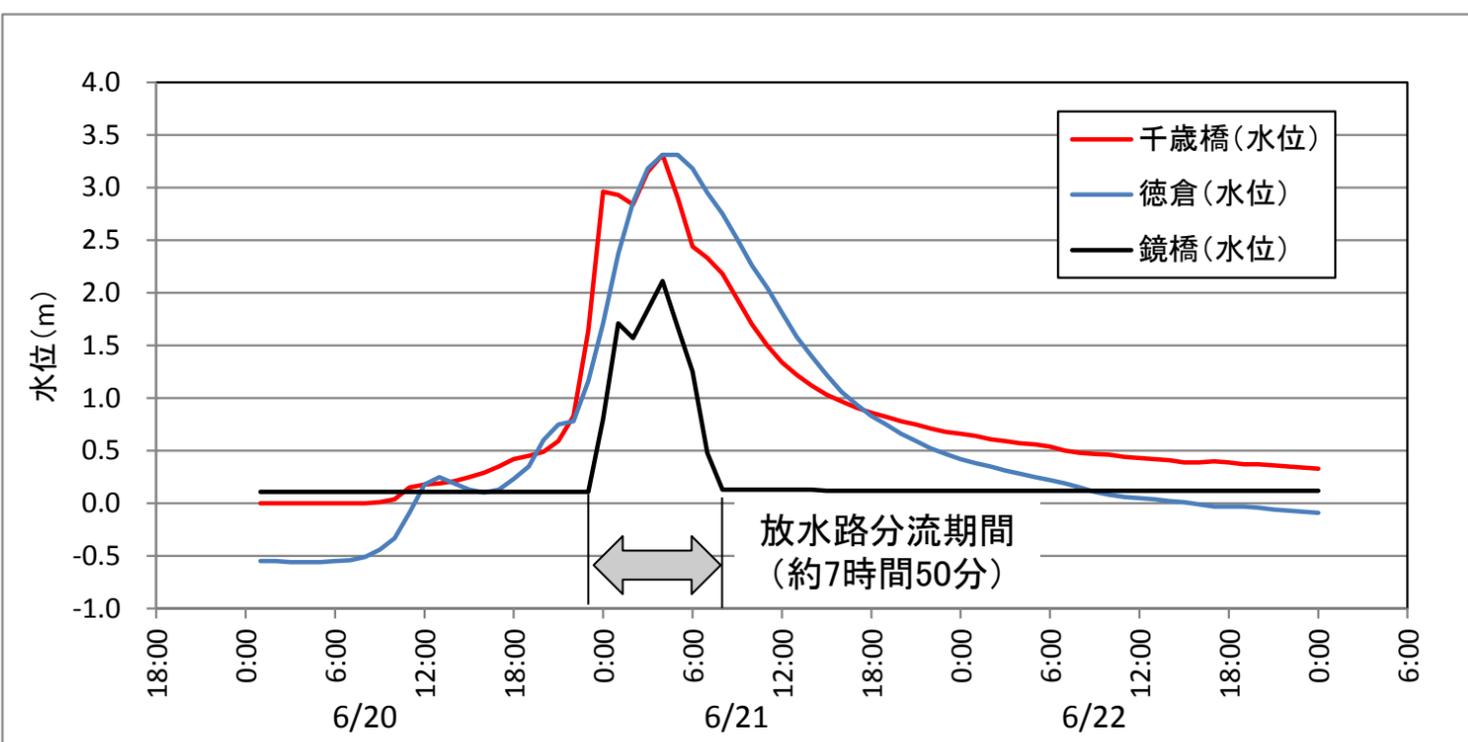
狩野川放水路の放水状況



天城雨量観測所(国交省) 時間雨量



狩野川(千歳橋・徳倉橋)と放水路(鏡橋)水位観測所の状況



梅雨前線(平成30年6月21日)の狩野川放水路による治水効果

放水路の分流により、水位が1.91m(推計値)低下!

放水路がない場合の想定水位
T.P.+8.92m

水位低下
約1.91m
(推定値)

今回の出水における最高水位
T.P.+7.01m

狩野川放水路による水位低減効果
(9.0kp)

注) 暫定値であり、今後、値が変わる可能性があります

2) 平成30年度の出水対応状況

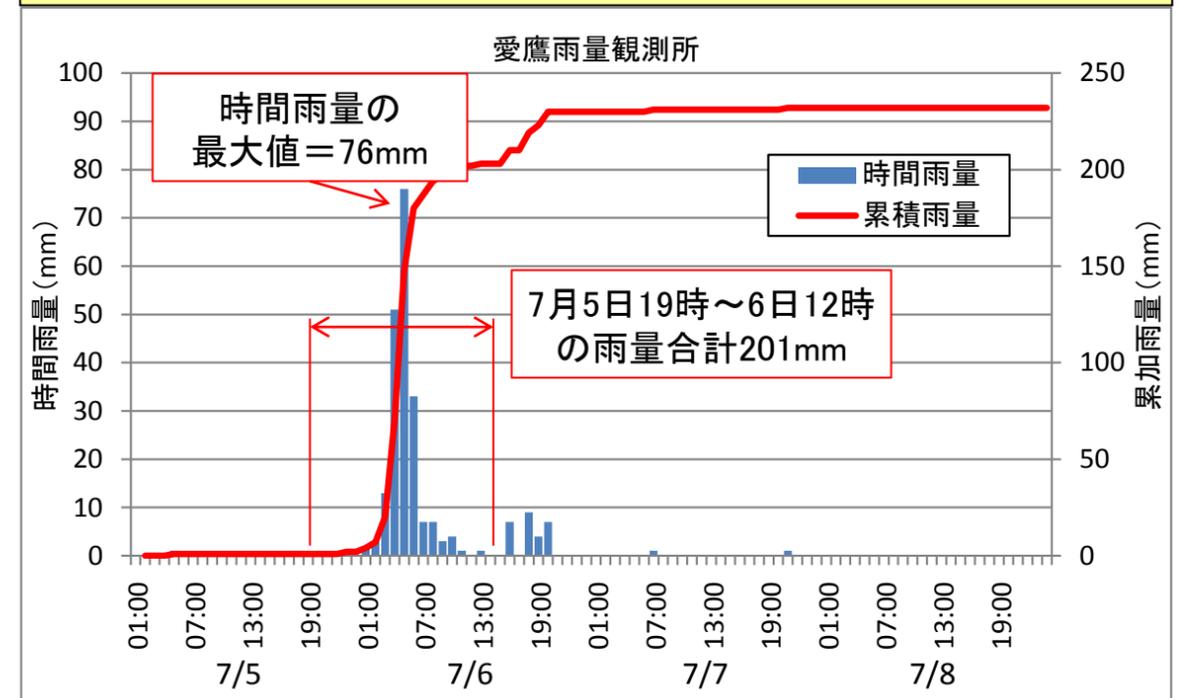
③ 梅雨前線(平成30年7月6日)の対応

- ◆ 愛鷹雨量観測所で、1時間80mmに迫る非常に激しい雨を記録
- ◆ 黄瀬川の本宿水位観測所の水位は、避難判断水位を超過

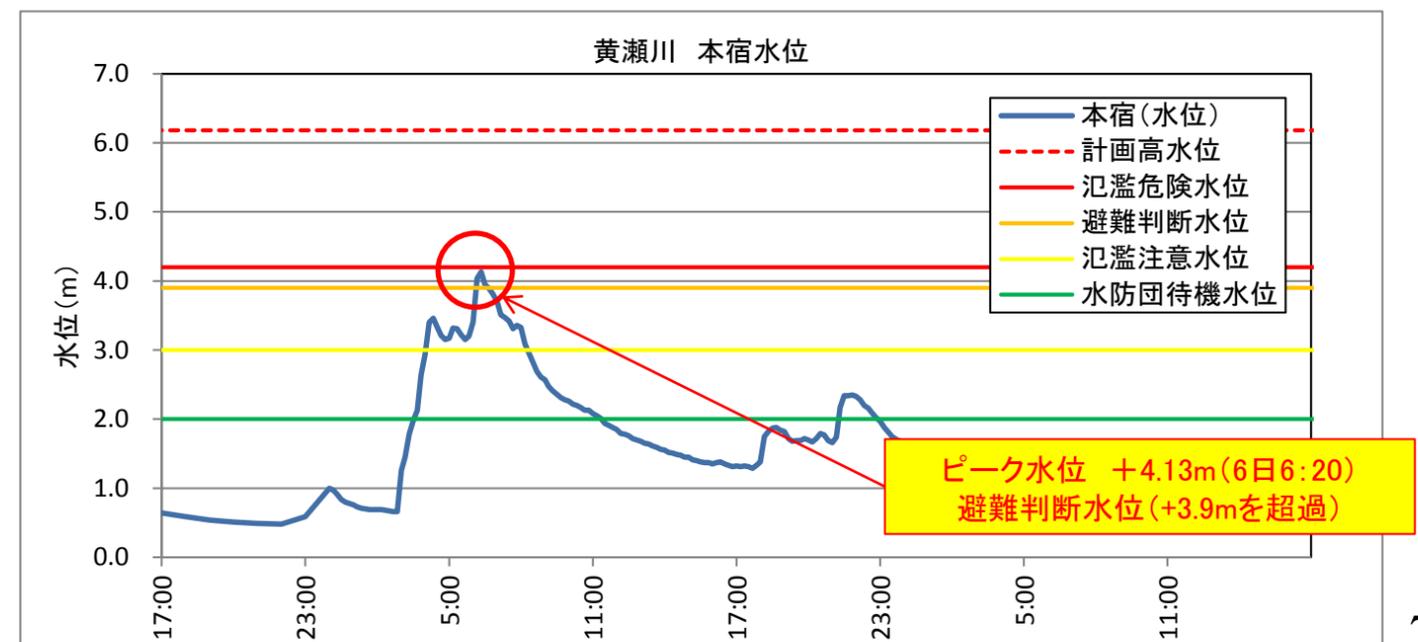
黄瀬川の出水状況



黄瀬川 愛鷹雨量観測所(国交省) 時間雨量



本宿水位観測所の状況



2) 平成30年度の出水対応状況

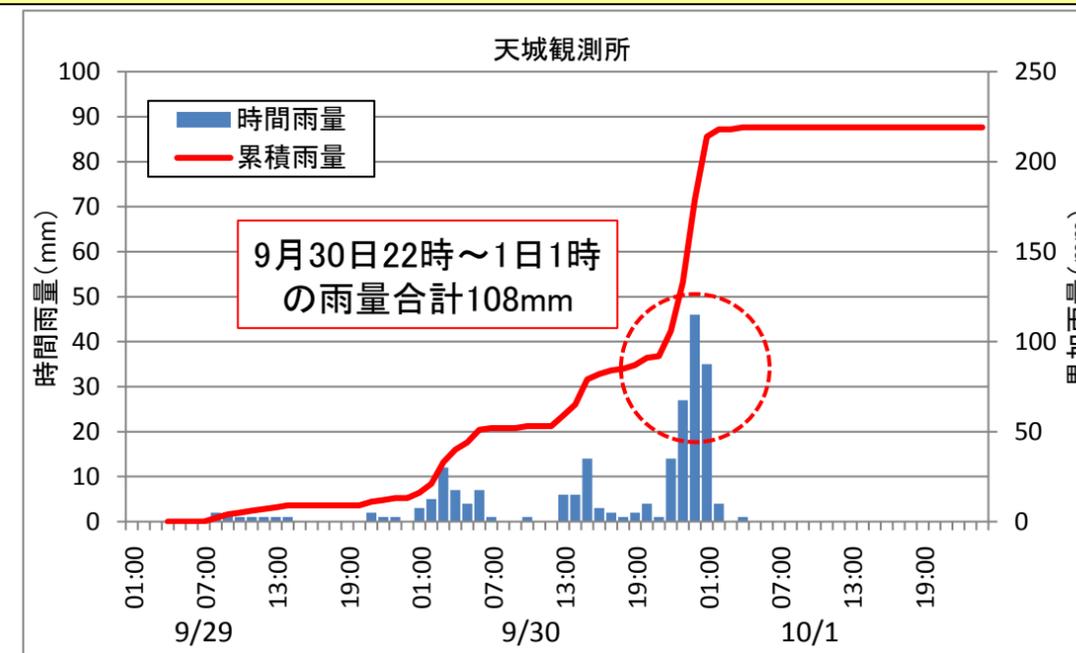
④ 台風24号(平成30年10月1日)の対応

- ◆ 非常に強い台風24号は勢力を維持したまま9月30日深夜、静岡県内に最接近し、9月30日の深夜から3時間で108mmの雨を観測
- ◆ 狩野川放水路固定堰を越流し、さらに水位上昇が見込まれたことから、10月1日0時50分に放水路を解放(10月1日5時17分に全閉)

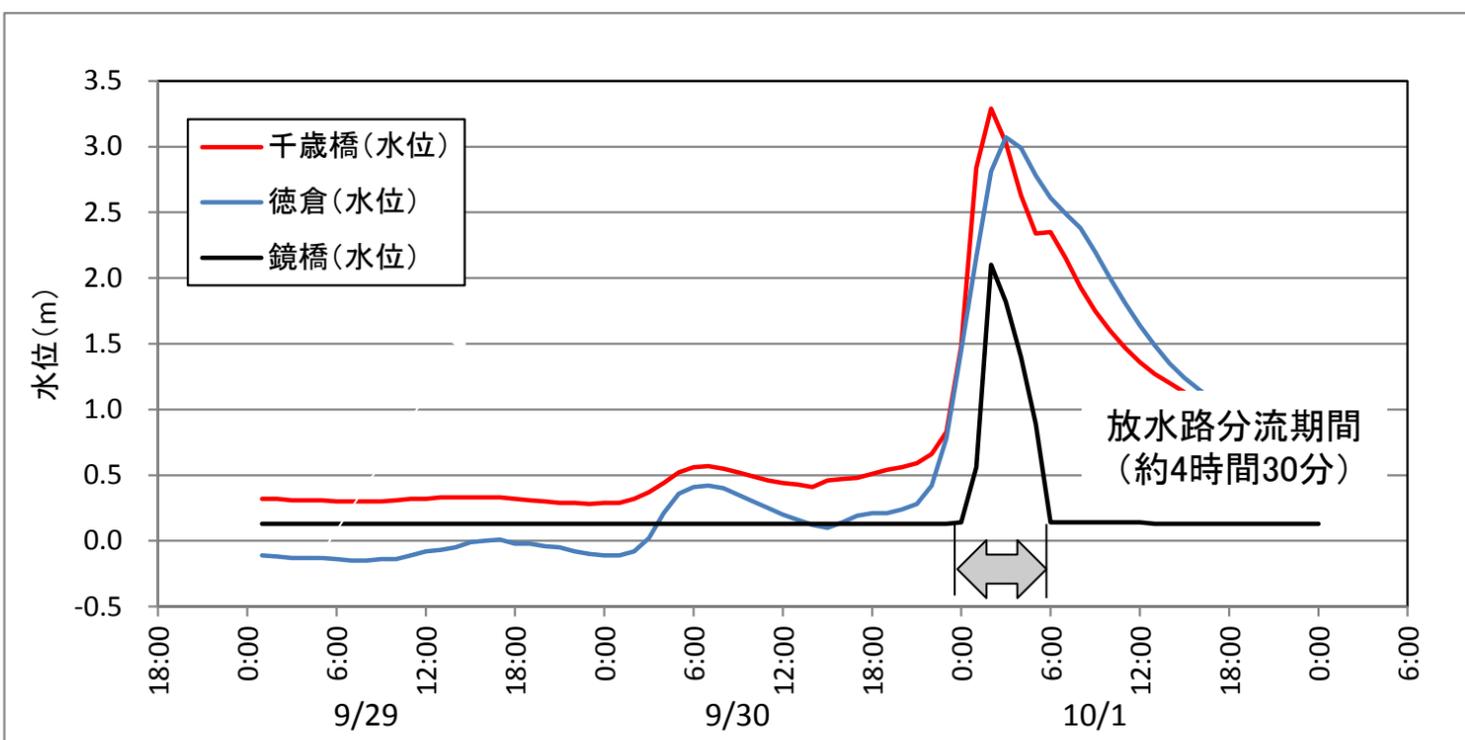
狩野川放水路の放水状況



天城雨量観測所(国交省) 時間雨量

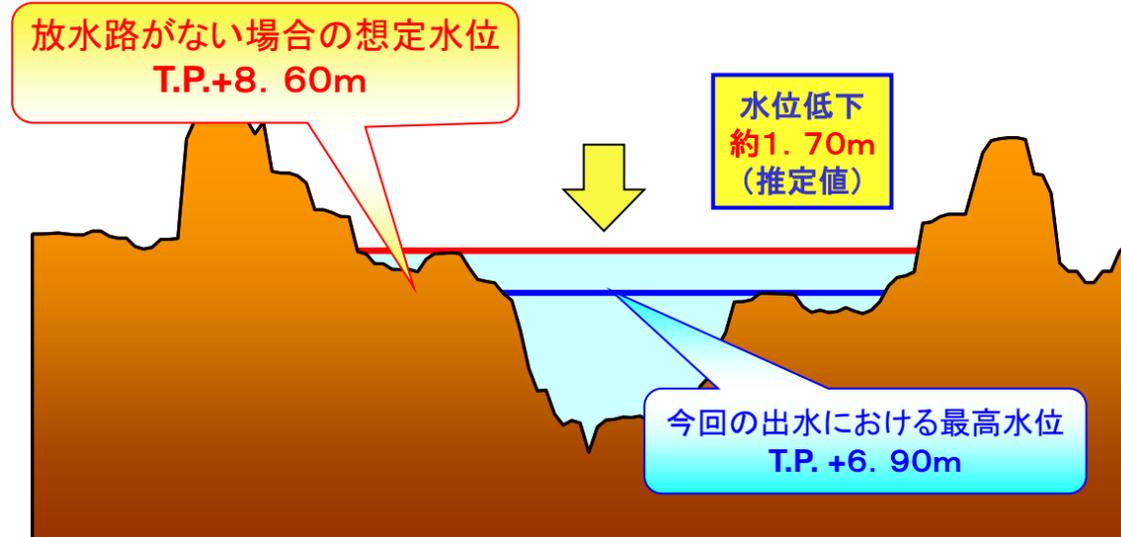


狩野川(千歳橋・徳倉橋)と放水路(鏡橋)水位観測所の状況



梅雨前線(平成30年6月21日)の狩野川放水路による治水効果

放水路の分流により、水位が1.70m(推計値)低下!



狩野川放水路による水位低減効果 (9.0kp)

注) 暫定値であり、今後、値が変わる可能性があります